6W

15W

電磁ブレーキ付インダクションモーター BHシリーズ

200W

□104mm





25W

40W

60W

90W

IP65 端子箱付 6W~40W

BHシリース

■特徴

●出力200W クラス最小サイズで出力200Wを実現。

●ハイポイドギヤ採用の直交軸ギヤヘッド

直交軸ギヤヘッドはハイポイドギヤ採用。 中空軸、中実軸をラインアップし、省スペース化を実現します。

●シャフト先端にタップ穴加工

ギヤヘッドのシャフトには、負荷との接続に便利なタップ穴加工をしています。

●「コンビタイプ」で取り付けも簡単

モーターとギヤヘッドをあらかじめ組み付けてお届けするコンビタイプをご用意。 装置への取り付けも簡単におこなえます。

コンビタイプ: モーターと専用ギヤヘッドをあらかじめ組み付けてお届けする ものです。 機器への取付作業が軽減されます。 モーターとギヤヘッドの組み合わせを変更したり、保守用にギ ヤヘッドが必要な場合には、モーター、ギヤヘッドを別々にお 求めになることもできます。

■仕様 連続定格 ®HS

c SU °us (()	ϵ
-------------------	------------	------------

品名			出力	電圧	周波数	電流	起動トルク	定格トルク	定格 回転速度	コンデンサ 容量	
	コンビタイプ	丸シャフトタイプ		W	V	Hz	Α	N∙m	N∙m	r/min	μF
(TP)	BHI62AMT-□RH BHI62AMT-□RA	(TP)	BHI62AMT-A	200	単相100	50	3.1	0.88	1.45	1250	47
(IP)	BHI62AMT-□		впіодамі-А	200	单相100	60	3.3	0.00	1.27	1500	4/
(TP)	BHI62FMT-□RH BHI62FMT-□RA	TP BHI62FMT-A	BHI62FMT-A	200	単相110	- 60	3	0.88	1.27	1500	40
(IP)	BHI62FMT-□		DIIIO21MI-A		単相115	50 3	3	0.98			
(TP)	BHI62CMT-□RH BHI62CMT-□RA BHI62CMT-□	(TP)	TP BHI62CMT-A	200	単相200	50	1.6	0.98	1.49	1250	12
		пр впюсемі-а	200	单相200	60	1.7	0.96	1.27	1500	12	
TP)	BHI62EMT-□RH BHI62EMT-□RA BHI62EMT-□	ТР ВНІ62ЕМТ-А	BHI62EMT-A	200	単相220	50		0.98	1.52	1250	10
						60	1.5		1.27	1500	
					単相 230	50	1.5		1.52	1250	
				丰石230	60			1.27	1500		
TP)	BHI62SMT-□RH BHI62SMT-□RA BHI62SMT-□	TP BHI62SMT-A	200	三相200	50	1.1	1.49 1.25	1.49	1250	_	
					60	1.1		1.25	1500		
				三相220	60	0.95	1.23	1.23	1550		
				三相230			1.18	1.18	1600		

[●]各仕様の値はモーター単体時の特性です。

●電磁ブレーキ部仕様(無励磁作動型)

品名	電圧 V	周波数 Hz	電流 A	入力 W	静摩擦トルク N·m
BHI62AMT-□RH、BHI62AMT-□RA	単相100	50	0.17	12	1.5
BHI62AMT-□、BHI62AMT-A		60			
BHI62FMT-□RH、BHI62FMT-□RA	単相 110	60	0.17	12	1.5
BHI62FMT-□、BHI62FMT-A	単相 115	60	0.17		
BHI62CMT-□RH、BHI62CMT-□RA	単相 200	50	0.09	12	1.5
BHI62CMT-□、BHI62CMT-A		60			
	単相 220	50	0.09	12	1.5
BHI62EMT-□RH、BHI62EMT-□RA		60			
BHI62EMT- BHI62EMT-A	単相 230	50			
		60			
	単相200	50	0.00	12	1.5
BHI62SMT-□RH、BHI62SMT-□RA		60			
BHI62SMT-□、BHI62SMT-A	単相 220	60	0.09		
	単相 230	60			

掲載ページ

●品名中の□には、減速比を表す数字が入ります。

[●]安全規格について → J-2ページ

⁽TP): サーマルプロテクタ (自動復帰型) を内蔵しています。 モーターが何らかの原因で過熱すると、サーマルプロテクタがはたらいてモーターは停止します。 (電磁ブレーキへの電力供給は継続され、開放状態のままです。) モーターの温度が下がると自動的に運転を再開しますので、点検作業は必ず電源を切っておこなってください。